

地域医療の充実向け協定

天草市 天草市医師会 天草市医師会



メディカルネットの支援協定を結び、握手する天草郡市医師会の酒井一守会長(右から2人目)と天草2市1町の首長＝天草市

天草郡市医師会と2市1町

天草郡市医師会(酒井一守会長)と天草市、

上天草市、苓北町は30日、ICT(情報通信技術)を利用した医療連携システム「あまくさメディカルネット」の設備更新費用の負担に関する協定を結ん

同ネットは、天草地域の医療機関の連携強化を目的に、昨年8月に県内で初めて運用を開始した。天草地域医療センター(天草市)を中心に、6中核病院でCTやMRIなどの画像を相互参照でき、患者の救急搬送や手当てに役立てている。

協定は医師会が3自治体に要請。5、6年ごとに数千万円要する通信機器の更新や、ネット加盟に伴う各医療機関の機器導入などにかかる費用を自治体が全額負担する。

天草市であった調印式では、中村五木天草市長が「地域医療の充実に向けて最大限の支援をしたい」と強調。

酒井会長は「地域内で完結できる医療体制を実現し、介護分野への参入も目指したい」と話した。(西森希)

<2015/04/01付 熊本日日新聞朝刊より>